

単元名 情報を編集しよう

教材 人物紹介パンフレットを作ろう（情報編集する）（光村図書「国語」2）

一 指導事項

第二学年「B書くこと」

ウ 文章の形態に応じて適切な構成を工夫すること。

*新学習指導要領

第二学年「B書くこと」

(1) イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして文章の構成を工夫すること。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

(1) イ(オ) 相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いが

あることを理解すること

二 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 書く能力	ウ 言語事項
読み手を意識し、何を伝えたいかを明確にした文章を工夫して書くようとしている。	自分の伝えたいことを明確にして、それが伝わるような表現や構成の仕方を工夫することができる。	パンフレットの形態や目的に応じて、文章の展開を工夫して書くことができる。

三 単元について

○ 本単元の指導事項として、第二学年の「B書くこと」ウ「文章の形態に応じて適切な構成を工夫すること」があげられる。私たちの社会生活ではさまざまなメディアを通して多くの情報が送られてくる。そこで、これらの情報から自分にとって必要な情報を選択する力、また、それらのメディアを使って自分の伝えたい情報を効果的に発信する力が求められている。本単元の「人物紹介パンフレットを作るう」は、資料から必要な情報を取り出し、自分の伝えたい事実に沿ってそれを効果的に編集して発信する教材である。この教材には、自分の興味をもった人物について表現したいという意欲を引き出せるという魅力がある。そして表現の工夫をする中で、日本語の特色を知り、理解した上で効果的な伝達の方法について考えさせることができる。

○ 生徒は一年時に「調べたことを正確に伝えよう」の単元で、レポート書きを体験している。その際目指したことは、①課題を選んだ理由を明確にする、②調べたことを書き分ける、③読み手に分かりやすいように工夫して書く、の三点である。この中で、「調べたことと考えたこととをかき分ける」は、項目ごとに構成を立てるなかで程度達成できたが、資料から読み取った情報を分かりやすく再構成することに課題が残った。また、二年時では、資料から事実を読み取り、それに対する意見を二段落で書く活動を体験している。初めはとまどっていた生徒も練習をする中で資料から必要な情報を取り出すことができるようになった。

○ 今回の単元では、とり出した情報を効果的に読み手に伝えるための構成の工夫や表現の工夫に重点を置きたい。指導に当たっては、人物紹介パンフレットというメディアの特性をふまえ、視覚的な効果、インパクトのある表現、ページごとの構成などを工夫させることにより、読み手により伝わる書き方を身につけさせたい。

四 単元の指導計画・評価計画

指導事項 第二学年「B書くこと」 ウ 文章の形態に応じて適切な構成を工夫すること。

単元の評価規準 ○読み手を意識し、何を伝えたいかを明確にした文章を工夫して書こうとしている。
○自分の伝えたいことが明確に伝わるような表現や構成の仕方を工夫することができる。

配時	具体的評価規準 (評価の方法)	学習活動(言語活動)	指導上の留意点	(関心・意欲・態度)	(話す・聞く、書く、読む、知識・理解・技能)	
					おおむね満足できる状況【B】	十分満足できる状況【A】
1	関：パンフレットの特性を理解しようとしている。(様相チェック) 書：パンフレットの特性を挙げることができる。(ワークシート分析)	1 学習のねらいや流れを理解する。 2 パンフレットの特性を確認する。	・パンフレットの実物をいくつか準備しておく。	・パンフレットの特性を探そうとしている。	・何種類かのパンフレットを読み比べて、どのパンフレットが分かりやすいかとその理由を挙げている	何種類かのパンフレットを読み比べて、目的や用途、内容、構成などについての違いを挙げている。 Cの生徒への手だて 教科書の説明を参考にさせる。
1 本時	書：目的や構成に応じた表現の工夫を分析することができる。(ワークシート分析)	3 パンフレットのもととなった情報とパンフレットの実例を見て、どの情報をどういう構成で提示しているか見つけ、発表する。 4 分かりやすく読みやすい表現や構成がどのようなものかまとめる。	・観点を決めて比較できるように、同じ人物を取り上げた三種類のパンフレットを準備する。		・パンフレットの実例から、伝えたい情報に沿った構成になっていることに気づいている。	・パンフレットの実例から、伝えたい情報を項目ごとに整理して、表現を工夫して適切な分量で書いていることに気づいている。 班員同士の話し合いの中で考えさせる。
1	書：自分が伝えたい人物の特徴を把握し、伝えたいことを明確にできる。(ワークシート分析)	5 自分が伝えたい人物について調べ、その人物のどんなところをどの順で伝えたいか考える。	・パソコン教室、図書室を使えるようにしておく。		・自分の伝えたい情報を探して、中心になるところを決め、項目ごとにまとめている。	・自分の伝えたい情報を探し、中心になるところを決め、読みやすい構成や表現を工夫している。 興味関心のある人物を聞き取りで確かめ、資料のアドバイスをする。
1	書：読み手をひきつけるキャッチコピーを分析することができる。(ワークシート分析)	6 キャッチコピーの例を見てその工夫について考える。 7 キャッチコピーを作る練習をする。	・キャッチコピーの実物をいくつか準備しておく ・体言止め、リズム感の重視、多義語の活用、比喩表現などの工夫を説明する。		・キャッチコピーの実例から表現の工夫に気づき、それを利用してキャッチコピーを考えている。	・キャッチコピーの実例から体言止めや比喩、音のリズムや多義語の活用などの表現の工夫を具体的に指摘し、それを利用してキャッチコピーを考えている。 実例をいくつか挙げて考えさせる。
2	書：紙面に配置できる量を考えて読み手に伝わりやすい表現の工夫をしてパンフレットを作っている。(作品分析)	8 キャッチコピーやレイアウトの工夫、表現の工夫をしてパンフレットの下書きをする。 9 A4用紙に清書する。	・下書きをしっかりとチェックしてアドバイスをす。		・伝えたいことを明らかにして構成や表現を考えてパンフレットを作っている。	・伝えたいことを明らかにしてそれを伝えるための表現を工夫して読み手に伝わりやすいパンフレットを作っている。 パンフレットの実物を見せながらイメージをわかせる。
1	関：伝えたいことを明確にして伝えるための工夫をして書くことの大切さを実感している。(様相チェック) 書：他者の作品を見て、どこをどう工夫しているかに気付いている。(ワークシート分析)	10 パンフレットを読み合い、工夫していたところを出し合う。 11 目標にそって学習できたか振り返る。	・班の中で、互いに交換して相互評価をさせる。班ごとの優秀作品を実物拡大機で提示する。	・工夫しているところを見つけ、積極的に発表しようとしている。	他者の作品を見て、いいと思ったところを指摘している。	他者の作品を見て、表現や構成について、どこをどう工夫しているかについて、具体的に指摘している。 パンフレットをしっかり読ませて考えさせる。

- 1 本時の具体の評価規準・評価方法
パンフレットの目的に応じた構成や表現の工夫を、実物見本を見る中で分析し、読み手に伝わりやすパンフレットがどのようなものかをまとめていく。(様相チェック、ワークシート分析)

2 資料等

- ①学習計画表
- ②パンフレットの実例
- ③ワークシート

3 本時の指導計画・評価計画

過程	学習活動・内容 主な言語活動	指導上の留意点	資料	Aの状況・Bの状況 Cの状況の生徒への手だて	形態	配時 (分)
導入	1 本時のねらいを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">わかりやすく読みやすい構成や表現がどのようなものかを理解しよう。</div>	学習計画表を使って学習の目的を確認する。	①	Aパンフレットの実例から、自分の伝えたい情報を項目ごとに整理し、表現を工夫して適切な分量で書いていることに気づいている。	一斉	5
展開	2 パンフレットA、B、Cを読んで、キャッチコピーと見出しを確認する。 3 パンフレットの実例A、B、Cを比較して目的に応じた構成になっているか、また伝えるためのどんな工夫をしているかを班で話し合っって見つける。 4 話し合った内容を発表する。	中学生の先輩が過去に作ったパンフレットの実物を準備する。 自分たちの気付かなかったことも、発表を聞いて書き込ませる。	②	Bパンフレットの実例から、自分の伝えたい情報に沿った構成になっていることに気づいている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">班員同士の話し合いのなかで気づかせる。</div>	一斉	2
まとめ	5 分かりやすく読みやすい表現や構成がどのようなものか確認する。 6 次時の予告をきく。	次時は本日学んだことを生かして、自分の伝えたい人物についてのパンフレットの構成を工夫することを確認する。	③		一斉	3

「人物紹介パンフレットを作ろう」学習計画表 二年 組 番 氏名()
 ねらい【書くこと】パンフレットの形態に応じた構成や表現を工夫しよう。
 学習計画表

時	学習内容	学習活動	自己評価
1	学習の見通しをもつ。 パンフレットの特性を知る。	1 教科書を一通り読み、これからの流れを知る。 2 パンフレットの実物を見て、パンフレットの目的、用途、内容、特徴をまとめる。 3 パンフレットの特性を確認する。	パンフレットの特性を挙げる事ができた。
2	分かりやすく読みやすいパンフレットとはどのようなものか考える。	1 パンフレットの実物を見て、目的に合わせて項目の立て方の工夫、読みやすい表現の工夫を見つける。 2 分かりやすく読みやすいパンフレットについてまとめる。	班の中で意見を言えた。 パンフレットを作る上で気をつけるべきことを三つ以上見つけられた。
3	自分の伝えたい人物像を明らかにする。	1 パンフレットで紹介する人物を決める。 2 その人物の何を伝えたいかについて三点左右考える。 3 4についてそれぞれその情報を見つける。	紹介したい人物を、選んだ理由と伝えたいことを書くことができた。
4	人目をひきつけるキャッチコピーを考える。	1 キャッチコピーの実例から、それが誰(何)を指しているのかを考える。 2 キャッチコピーの実例から、どんな工夫があるかを見つける。 3 キャッチコピーを作る練習をする。 4 紹介する人物のタイトル(キャッチコピー)を考える。	キャッチコピーの工夫点を指摘することができた。 表現技法を利用したキャッチコピーを考えることができた。
5 6	パンフレットを作る。	1 書く順番と配置を考えて下書きをする。 2 A4の用紙を使ってパンフレットを作る。 ・ 中心となる事柄を決め、それに沿った構成を考える。 ・ 紙面に配置できる量を考え、要約するなどして読みやすくする。 ・ 専門的な言葉は分かりやすく言い換える。 ・ 使った資料は明記する。 ・ 事実と自分の意見感想を明確に書き分ける。 ・ 色を使ったり、写真を貼ったりする。	中心になる事柄に向けての構成になっている。 読みやすい量になっている。 難しい言葉を使っていない。 使った資料を全て書いた。 色や写真、グラフなどを入れた。
7	パンフレットを読み合い、これまでの学習を振り返る。	1 班内で、お互いのパンフレットを読み合い、工夫していた点を出し合う。 2 班代表の作品を見る。 3 振り返りシートに沿ってこれまでの学習を振り返る。	級友のパンフレットの工夫しているところを書くことができた。

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

A・B・C

パンフレットとはどのようなものか理解しよう。

パンフレットが置いてある場所	駅、市民センター、旅行社の店頭、観光地、施設の入り口
パンフレットの用途、目的	情報を読み手に伝える。

★ 今から見せるパンフレットを見て特徴をまとめよう。

項目	気づいたこと	なぜそうしたか
1 見た目	写真、色、イラスト、字体の工夫、図表などを使っている。	おもしろそう、見てみようと思わせるため。
2 表紙に書いていること	キャッチコピー	興味をひくため。 内容や一番言いたいことを一言で簡潔に示すため。
3 内容の書き方	項目ごとに分けている。 簡潔に書いている。 項目によって書き方が違う。	読みやすくするため。 分かりやすくするため。
4 読み手によってどう違うか	城島高原パークは子どもが興味を持つ書き方をしている。 アクティブ65の方は、高齢者が自然に読めるようなあっさりした書き方をしている。	読み手を意識して、読み手に合わせて書いているため。

★ よいパンフレットとはどのようなものか考えよう。

1 字の（大きさ）や（色）の使い方を工夫している。 （イラスト）や図表、写真、グラフなどを活用する。
2 読み手をひきつける（キャッチコピー）を工夫する。
3 選んだ情報をどの（順序）でどの（場所）に配置すれば分かりやすいか考える。 （見出し）（ごと）に書く内容を選ぶ。
4 （読み手）や（目的）にに応じて、集めた情報を取捨選択する。 読みやすい（言葉遣い）を心がける。

★ 今回人物紹介パンフレットを作ります。用途、内容を確認しよう。

- ・〇〇中の二年生および保護者、地域の人に掲示して見せる。
- ・自分の尊敬する人物、好きな人物を知ってもらう。

読み手に分かりやすいパンフレットがどのようなものかまとめよう。

★三種類のパンフレットを見て次の項目についてまとめよう。

	A	B	C
キヤッチコピー	三重苦を乗り越えた愛の人 (人柄)	人々に愛と希望を与えた (人柄)	社会福祉に生涯を捧げた (功績)
見出し	なし	・障がいに負けずに生きたヘレンの人生 ・ヘレンケラーって ・参考文献	・ヘレンケラーの生涯 ・人柄を伝えるエピソード ・ヘレンケラーの残したものの
内容とキヤッチコピーは合っているか。(理由もつけて)	○ 三重苦なのに立派な生き方をしたことが書いている。 不幸な人を助ける事業をしたと書いている。	× 病気になったけれど、サリバ先生と出会って変わった、ということしか書いていない。	○ 人権や平和のために活動したことが書いている。 世界の国を講演して回り、それをきっかけとして社会福祉事業が進んだことが書いている。
伝えるための工夫、または工夫が足りないところ 見出しをつけた方がよい。 盲、聾、唾など、読みにくい言葉をわかりやすく直したほうがよい。	項目を分けている。 イラストが書いている。	項目ごとに分けている。 生い立ち + 人がある 社会福祉 という構造になっている。	

★パンフレットを作るとき何に気をつけて作ればいいのか、右の表から読み取ってまとめよう。

- ・その人のどんなところを中心として伝えたいかをしっかり決める。
- ・伝えたいことに沿って内容を書く順番を考える。
- ・項目を分ける
- ・分かりやすい言葉を使う。

【 評価・目的に応じた構成や表現の工夫について理解している 】

パンフレットの構想を立てよう。

- 1 パンフレットで紹介する人物を次の中から選んで一人決めなさい。(自分が興味を持っている人)
○歴史上の人物 ○作家 ○スポーツ選手 ○アーティスト ○タレント、俳優

- 2 選んだ理由を書きなさい。

--

- 5 その人物のどういうところを伝えたいか、三点から五点の範囲で書きなさい。(教科書49参照)
また、その中で中心的に伝えたい項目の番号を○で、簡単にふれたい項目の番号を△で囲みなさい。

1	2	3	4	5

- 6 情報の集め方としてどんなことが考えられるか書きなさい。(教科書49参照)

--

紹介する人物を決め、その理由と何を伝えたいかを明確にしている。【 】

自分のテーマに合った情報を集め、分かりやすい言葉に直して書いている。【
】

簡単に触れる情報			主に伝えたい情報	主に伝えたい情報	情報内容
					情報源

集めた情報を整理して書きなさい。また、コピーや印刷物、切り抜きなどは裏面に添付しなさい。

キヤッチコピーを考えよう

★キヤッチコピーとは？（教科書五十一ページ）

読み手の心を引きつけるように工夫された印象の強い短い言葉。

★次のキヤッチコピーが誰（何）を指すか考え、どんな工夫をしているか見つけよう。

	キヤッチコピー	誰を表しているか	工夫しているところ
1	世界のフラミンゴ	王貞治	比喻 体言止め
2	オニオンヘッド	黒柳徹子 ながさわ君	特徴を一言で
3	ピッチの妖精	ストイコビッチ	同音を利用（だしやれ）
4	ワシの存在まっ赤なウソじゃ	サンタクローズ	カタカナを効果的に使ってインパクトを与える
5	大正時代の女性飛行士	木部シゲノ	業績を一言で表す

★キヤッチコピーの工夫の仕方をまとめよう。

その人の特徴をとらえる。

その人が成し遂げた業績を一言で言う。

比喻表現の工夫。

音の響きを考える。

見た目のインパクトを与える。

★その人物の特徴や業績からキヤッチコピーを作ってみよう。

人物	特徴や業績	キヤッチコピー
福沢諭吉と云えば？	一万円札に載っている	一万円札の男
坂本龍馬	犬猿の仲の薩摩と長州を連合させた	天才的仲介屋

★自分が取り上げる人物についてのキヤッチコピーを考えよう。

人物	特徴や業績	キヤッチコピー

評価・表現を工夫してキヤッチコピーを作っている。【 】

★オモテ面の情報をどこに配置するか考え、項目を書こう。

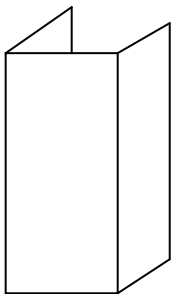
二つ折り型



p 4	p 1
-----	-----

p 4	p 3
-----	-----

三つ折り型



--	--	--

--	--	--

その他の型

--

【 集めた情報を、レイアウトを考えて項目ごとに整理することができた。 】

パンフレットの評価をしよう。

★班員のパンフレットを見て、気づいたことを書こう。
良い点◎ 改善できるところ△マークをつける。

班員名	気づき
	◎
	◎
	◎
	◎
	◎

評価・ 班員のパンフレットの表現や構成の工夫を具体的に書くことができた。【 】